

都市再生整備計画事業 フォローアップ報告書
千葉駅西口周辺地区

平成25年2月

千葉県千葉市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	千葉駅西口の利便性の向上	%	11	11	11	確定	○	あり	12	H24年7月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市街地再開発事業にあたって仮設通路整備等の適切な措置や、西口自由通路、エレベータの整備・供用により利便性が従前並みの水準を損なうことなく維持され、目標の達成に寄与したと思われる。
指標2	千葉港黒砂台線のアクセス性の向上	分	8	2	2	確定	○	あり	2	H24年11月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	千葉港黒砂台線の京成線アンダーパスの開通により、国道14号と千葉駅西口周辺が直結し、臨海部方面へのアクセス性の向上が図られた。
指標3	歩行者・高齢者に対するバリアの解消	箇所	5	2	2	確定	○	あり	2	H24年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	西口自由通路、駅前広場ベデストリアンデッキ及び千葉港黒砂台線のエレベータが完成したことにより、階段のみの昇降箇所の解消が予定どおり図られた。
指標4						確定		あり		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定		あり		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	西口の利便性の維持・向上	事業により整備した施設が有効かつ効率的な利用が図られるよう維持管理や公共施設整備を適切に実施した。	駅周辺の歩行環境の維持が図られ、駅利用者数も微少であるが増加傾向が見られた。	今後も再開発ビル建設や公共施設整備を進めていくうえで、駅利用者の歩行環境の向上が図られる施策を進める。
	千葉港方面へのアクセス性の向上	千葉港黒砂台線の京成線アンダーパス部の歩道部とエレベータを暫定供用した。	西口駅前から千葉港方面への踏切を横断しない歩行空間が確保された。	アンダーパスを通行する車両の防災性のさらなる向上のため、降雨時の路面状況を表示する道路情報提供装置を設置する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	JR千葉駅建替えとの連携	現在、駅連絡通路整備の設計を実施中であり、来年度より整備に着手する。また、駅及び駅ビルは、鉄道事業者により、建て替えが進んでいる。	連絡通路整備に向け順調に進捗しており、完成後の利便性向上により、駅利用者へのサービス向上が図られ、駅周辺のにぎわい創出の一因となることが期待される。	さらなる利便性、回遊性の向上を図るための施策やビルオープン後の集客性を高めるイベントの企画立案が求められる。また、再開発ビルB棟敷地の利活用について、駅及び駅ビル建て替えを踏まえ、事業手法を含め検討を進めていく。
	歩行者や高齢者の歩行環境向上(現計画で予定した以外の箇所)と回遊性を高めるしかけづくり	修景広場の基本計画の策定は完了し、整備のための設計に着手した。また、歩行環境向上に資する、無電柱化を推進する電線共同溝整備を行った。	修景広場整備に向け順調に進捗しており、施設の完成により歩行環境の向上と人のたまり空間が確保され、回遊性が高まることが期待される。	修景広場の多目的な活用方法についての検討が必要とされる。また、さらなる歩行環境の向上のため、ビル内のエレベータの利用時間を検討し、バリア残存箇所の解消を図る。案内板整備による周辺施設の案内を通して、歩行者利便性のさらなる向上を図る。
	再開発ビルの適切なテナント誘致と管理運営体制の確立	再開発ビルA3棟を管理運営する管理組合の設立に着手し、A1、A2棟もテナント誘致及び管理運営体制の構築に着手した。また、3棟の連携を図るための管理運営を検討している。	再開発ビルオープン後の西口周辺におけるにぎわいが期待される。	集客性を高め、空き店舗が発生しないための施策が望まれる。また、自由通路及び駅前広場と接続する再開発ビルA3棟内のコンコースの適切な維持管理が必要である。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項